

中国からの帰国者のための

生活日本語

(生活日语)

II

文化庁

中国からの帰国者のための

生活日本語

(生活日语)

II

文化庁

前 言

1972年日中邦交恢复正常化以来，许多人陆续从中国回到日本，其中包括遗留在中国的日本孤儿。各有关方面纷纷反映归国者们由于语言方面的障碍，在日本的生活遇到很大的困难，有必要尽快地编制对他们适用的教材。

为了满足这种要求，1982年以来文化厅编写了学习教材《生活日语》。为更有效地利用这一教材，还编了指导参考材料，一并发给归国者和指导他们日语学习的有关人士。

我们高兴地看到这些日语教材在各都道府县及志愿服务团体对归国者进行的日语教学中得到广泛运用。学完或正在使用《生活日语》的人要求编出今后能继续学习的教材，这种呼声与日俱增。

为此文化厅决定成立“中国归国者日语教材编写委员会”，编写适合于学完《生活日语》的人继续学习的教材《生活日语Ⅱ》。

此教材的目的与《生活日语》一样，是培养学习者日常生活所必需的日语能力。《生活日语Ⅱ》还收进《生活日语》中未能采用的，以家庭生活为中心的日常生活会话练习，并对学习者掌握较复杂的会话表达方法的需要，进行了必要的考虑。

我们衷心希望归国者通过运用这教材，掌握日语会话能力，从而使在日本的生活过得更顺利圆满。

最后，谨向在编写教材的过程中，放弃假日，热心努力的编写委员们表示衷心的感谢！向给予我们协助的各方人士表示深切的谢意！

1985年2月

文化厅文化部国语课

はじめに

昭和47年日中国交が正常化されて以来、いわゆる中国残留日本人孤児といわれる方々を含め数多くの方々が帰国してこられるようになりました。この帰国者の方々の円滑な生活適応が言葉の面からも妨げられている実情が関係各方面から指摘され、早急に適切な日本語教材を開発する必要があるとの要望が高まってきました。

このような要望に応えるため、文化庁では、昭和57年度以降学習教材「生活日本語」及びこれをより有効に活用していただくための指導参考資料を作成し、帰国者及び帰国者に日本語を指導している方々に配布してきました。

幸いに、これら日本語教材は、帰国者に日本語を指導している各都道府県、ボランティア団体等において広く活用されるところとなりましたが、「生活日本語」を学習している方々や修了した方々からその後も学習が継続できる教材が欲しいとの声が聞かれるようになってきました。

このため、文化庁では、中国引揚者日本語教材編集委員会を設けて、「生活日本語」を修了した方々が引き続き学習するのにふさわしい教材「生活日本語Ⅱ」を作成することとしました。

この教材では、「生活日本語」と同様に日常生活において必要な日本語能力を身に付けさせることを主目的とし、「生活日本語」において十分に収録できなかった家庭生活の場面を中心に頻繁に使われる日常会話の練習を多くとり入れ、やや複雑な表現を必要とする会話能力が身につけられるよう配慮してあります。

中国から帰国された方々が、この教材を活用されることによって、日本語の会話の力をつけ日本での生活がより円滑に行われることを心から願う次第です。

最後に、この教材の作成に休日も返上して尽力された編集委員会の委員の方々の熱意に深く感謝を申し上げるとともに、御協力をいただいた関係の方々に厚くお礼を申し上げます。

昭和60年 2 月

文化庁文化部国語課

本书的特点和使用方法（この本の特色と生かし方）.....	1
------------------------------	---

第1课 请示（届出）.....	15
-----------------	----

○请假（欠席の届出）

・明天我想请个假（あした、休みたいんですが）・我爱人说她今天要请假（家内が今日休ませていただきたいと言っているんですが）・听说高桥因为去医院要请假（高橋さんは病院へ行くんで、休むそうです）

○请早退假（早退の許可を求める）

・我可以回家吗？（うちに帰ってもいいですか）

○出门儿时打招呼（外出時に声をかける）

・我出去一趟，麻烦您给照应一下儿。（ちょっと出かけてきます。お願いします）

第2课 指示和委托（指示と依頼）.....	54
-----------------------	----

○请事务员拷贝讲义（コピーを頼む）

・这个，让办公室的人给拷贝15份来。（これ、事務の人に頼んで15部コピーしてもらってください）・您能不能给拷贝一下儿？（これ、コピーしていただけますか）

○身体检查（健康診断）

・我想检查一下身体。（健康診断、お願いしたいんですが）・请您在这张表上把需要填写的地方填一填，然后拿着它到第一检查室去。（これに必要事項を記入して、それを持って第一検査室へ行ってください）

○拍爱克斯光照片（レントゲン）

・请把下巴颏儿顶在那上面，两只手搂住透视机。（そこに首をのせて、手は横に回して）・就这样，不要动。（じゃ、動かないでください）

○被请当翻译（通訳を頼まれる）

・这个星期天，能不能让他给当下翻译？（今度の日曜日なんですけどね、通訳をしていただけないでしょうか）

第3课 扫除（掃除）.....101

○家庭卫生（家の掃除）

- 那儿还没用吸尘器打扫哪。（そこはまだ掃除機かけていないんですよ）
- 这儿总是擦不净。（ここ、ふいてもきれいにならないんですけど）• 那我用刷子吧。（たわしを使いましょうか）

○教室卫生（教室の掃除）

- 我从前面开始扫，你在后面再用拖布擦一擦。（前の方から掃いていきますから、そのあとモップかけてくれますか）

第4课 洗衣服（洗濯）.....118

○“无人”洗衣站（コインランドリー）

- 这个洗衣机，有人用吗？（ここ、使っていますか）• 可以拿出来吗？（出してもいいでしょうか）

○在家里洗衣服（家で洗濯）

- 这毛巾变得硬邦邦的，有没有什么好办法能使它变得松软一些？（タオルがごわごわになっちゃったんですけど、何かいい方法ありませんか）• 洗完以后用点儿柔软剂就好了。（仕上げにソフロンを使うといいですよ）

○溅上泥水（泥はね）

- 被卡车溅上泥水了。（トラックにひっかけられたんですよ）• 我本来想躲开，可已经来不及了。（よけようとしたんですけど、間に合わなくて）

第5课 做菜<1>（料理（1））.....138

○做酱汤（みそ汁を作る）

- 清汤已经做好了，下面应该做什么呢？（だしをとりましたけど、次は何をしたらいいですか）• 嗯，什么叫“さいの目”？（あの、さいの目って言うのは）

○摆饭菜（配膳）

- 咸菜是放在饭桌的中间吗？（漬物はまん中に置けばいいですか）

○吃饭（食事）

- 吃饭时往别处看，会把饭弄撒的。（よそ見しながら食べるとこぼすよ）

○请教做菜方法（作り方を教わる）

- 这个菜是怎么做的呢？（これ、どうやって作るんですか）• 先放白糖，然后

再用酱油来调味。(はじめにお砂糖を入れて、それからおしょうゆで味付けするんです)

第6课 做菜<2>(料理(2))161

○做咖喱饭(カレーライスを作る)

• 这肉要炒到什么样儿啊?(この肉はどのぐらいいためればいいんでしょうか) • 您来尝一下儿吧。(ちょっと味をみていただけますか) • 桌子擦过了吗?(テーブルは、ふいてあるかしら)

○教给别人做菜方法(作り方を教える)

• 下面我们就该揉面了, 这么揉。(そうしたら、これをこねるんです。こういうふうに) • 先象这样把它抻成圆条形的。(まず、こうやって棒のように伸ばすんですよ)

○烹调用语一览表(調理用語一覧)

第7课 服装(服装)178

○服装的检点(服装の点検)

• 西服送洗衣店洗过了吧?(スーツは、クリーニングしてあるね) • 上次买的袜子呢?(この間買った靴下は)

○买衣服(服を買う)

• 能不能把裤长给我改一改?(丈は直してもらえますか) • 嗯, 我觉得有点儿大。)(あの、ちょっと大きいような気がするんですけど) • 这件衬衫能在家洗吗?(これはうちで洗えますか)

第8课 器具(器具)202

○煤气烧水器的用法(ガス湯沸器の使い方)

• 使用烧水器的时候, 一定要打开通风扇。(湯沸器を使うときは、必ず換気扇を回してください) • 把电视机关掉。……电视早就停了。(テレビ消して……消えてるよ)

○买照相机(カメラを買う)

• 我想要一个简单的, 就是那种连孩子也能用的。(簡単なのがいいんですが。子供でも使えるような) • 闪光灯变红了以后, 再按快门儿。(フラッシュが赤

くになったらシャッターを押す、と)・胶卷怎么换?(フィルムは、どうやって取り替えるんですか)

第9课 业余木工(日曜大工).....224

○帘子.....量尺寸(カーテン.....寸法を測る)

・您先等一会儿,我把尺寸记下来。(ちょっと待ってください。メモをとりますから)・阳台这边儿的宽300公分、长是180公分。(ベランダ側は幅が300で丈が180)

○搁板.....买零件(棚.....部品を買う)

・支搁板用的,这种样子的小五金.....。(棚を支えるこういう形の金具は.....)

○受伤.....接受治疗(けが.....診察を受ける)

・这儿被瓶子片儿划破了.....(ここ、ビンで切っちゃったんですが)・我不用来了吧?(あのう、もう来なくてもいいんでしょうか)

日文解说(解説和文).....245

练习项目索引(練習項目索引).....249

词句索引(語句索引).....256

中国归国者日语教材編集委員会委員及其协助者(中国引揚者日本語教材編集委員会委員及び協力者).....278

本书的特点和使用方法

本教科书是为了学习者在学完由文化厅发行的《生活日语》的基础上，进一步学习日语而编写的。

本教科书的特点，基本上与《生活日语》相同：考虑到“归国者不同于到日本短期旅行访问的外国人，他们需要完全地投入日本的社会生活，并从事工作，为此他们必须掌握一定程度的日语。”这一重要目的，我们收集了日本家庭内的会话、邻居间的寒暄、朋友间的交往等对话作为这本教材的主要内容。

本教科书采用了人们在日常生活中经常听到的自然的口语，避免了那种生硬的、不自然的会话内容，同时也避免了为单纯完成教学任务而编写的脱离现实生活的会话文。在教材的编排上，我们充分地考虑到：要使学习者所学到的日语知识，当天就能用上，而不是等几个星期、甚至几个月以后才能进行实用会话。这是因为我们重视学习者的学习环境，也就是说，学习者没有掌握多少日语，就必须在使用日语的实际生活中继续学习。

《生活日语》的主要目的是：要向学习者说明在日常生活中需要掌握哪些日语，并且教给学习者如何利用比较少的生活用语应付日本的社会生活。不仅如此，这本教材还同时向学习者介绍了比较多的语言环境，还有归国者在自己的日常生活中可能接触到各种场面以及他们经常听到的日语会话内容。之所以编排了种种不同的会话和会话场面，是因为学习者即使是学会了一句话，但是如果不知道应该在什么场合下使用，就谈不到正确使用这句话了。

这种做法虽然有利于提高学习者的实用会话能力，但容易在学习上出现缺乏系统性和完整性的缺点。如果不是日语专业教师来上课，那么这种可能性将会更大。针对这个问题，《生活日语Ⅱ》则是以学习者能够比较系统地掌握日语为中心目的。根据这个主要目标，这本教材从语法上、从词语的使用上，由浅入深，使学习者循序渐进，不断积累和增加自己的日语知识。

为了学习者能把自己在《生活日语》里所学过的知识，在这本教材的学习中进行复习和巩固，并且进一步扎扎实实地学会新的表达方法，我们准备了大量的会话和练习。望大家能够重视课本中的每一项内容，切实做到严格认真地学习。

〔全书的组成〕

全书共有9课，书后附有练习项目索引和词语索引。做为中心内容的9课课文所出现的场面：分别是《请示》、《指示和委托》、《做扫除》、《洗衣服》、《做菜》、《服装》、《器具》、《业

余木工》。这些课文的特点是以日常生活各种场面为中心，并且将人们在这些场合所使用的会话内容做为素材来编写的。

各课的会话文本本身几乎不存在什么难易之差，另外在课后的练习中也没有象在初学阶段那样有比较严格的步骤和阶段上的区别。但是从整本教材上来看，其难度也是由浅入深，逐步增加的。我们希望每个学习者在结束《生活日语Ⅱ》的学习之后，能够将自己所掌握到的日常生活用语说得更充实、更丰富。

本教材的另一个特点是：每一课会话文比较少，而解说和练习的部分比较多。平均来说，每一课都有25个解说和练习。

从各课的练习内容上来看，这9篇课文又可分成第一、第二两个部分。第一部分包括第1课和第2课，这一部分以复习《生活日语》的内容为主，主要是要把所学过的知识做到复习和巩固，对基本的语法项目，也做了反复的复习。关于动词和形容词的活用也是从基本的内容开始复习。同第二部分相比，第一部分里说明和练习的部分所占的比例很大。在第二部分（即第3课到第9课），虽说编排了一定的复习内容，但主要的目的是要让学习者能够掌握更多、更新的表达方式。

练习项目的索引，是把各课后面的练习项目按照词类分别整理出来的。如果要使学习者比较系统地学习日语语法知识，或者要把学习者在学习上的薄弱环节找出来，让他们在家里学习，可以利用这个索引。

词语索引的编集，是为了使学习者查找方便，每一个词语用例一目了然。不仅会话中的词语是这样，就连在练习中出现的新词语，也同样能够很方便地查出来。希望大家在进行预习或复习时，充分地利用这些索引。

〔各课的组成〕

各课的组成如下：

解说(中文)

〔会话-1〕

〔会话-1〕的说明和练习

∴

〔会话-2〕

〔会话-2〕的说明和练习。

∴

〔会话-3〕

〔会话-3〕的说明和练习。

⋮

〔会话-4〕

⋮

(以下从略。)

开头的解说只有中文，但和它内容相同的日文写在书末词语索引的前面。不仅所有的会话文均有中文，而且在说明和练习中以及在这两个部分中出现的新词语，也根据需要附有中文。中文译文以自然的语言为主。对汉语里没有的说法或者学习者难以理解的词语，我们设法采取了解释的办法，力求避免学习者对日语产生误解，帮助学习者更准确地掌握语言。

(解说)

每课课文里出现的各种会话场面，在解说部分都是按照日本人的生活习惯或常识，做了条理性的规纳和总结，并且在解说上尽可能做到简明具体，尽量使这些知识能够直接应用于学习者的实际生活中。正因为内容详细具体，所以不免会因此产生一些问题。例如人们通常利用的“无人”洗衣站，因为地区不同、各洗衣站不同，其使用方法也就有所不同，还有吃饭的习惯也是因人而异，各不尽然。解说中所提到的都是一般性的问题，因此与学习者所接触的实际生活可能会有一些出入，这一点请各位教师在教学时要结合学习者的实际生活环境。

(会话、说明和练习)

每课的会话短文选有 5 至 8 篇。从这些会话短文的篇幅上看，第 1 课到第 3 课比较短，而后面几课的会话逐渐增长。

说明和练习这个部分均出现在各课会话之后，每一篇会话和它后面的说明和练习部分都构成一个教学单元。

下面就这一教学单元的构成做一简单说明。

〔会话-1〕服装の点検

林さんは、今日、会社の面接に行きます。朝、服装を点検します。

1 林：今日は、ちゃんとした服装をしなきゃ。スーツは、クリーニングしてあるね。

2 夫人：ええ、大丈夫です。

3 ⋮

〈会话文的翻译〉

〔会话-1〕服装的检点

老林今天要去参加公司的面试，早上检点服装。

1 林：今天我得穿整齐一点儿，西服送洗染店洗好了没有？

2 夫人：洗好啦！

3 ……

〔会话-1〕のための練習

〈说明〉

1. ちゃんとした服装（整整齐齐的服装。）

「ちゃんとした」は「ちゃんとした」と大体同じ意味の言葉で……

……

同上中文翻译。

〈说明〉

2. しなきゃ（得……）

「しなければ」の縮約形で……

同上中文翻译。

〈练习〉

練習2-1

例にならって「～なきゃ」で終わる文にかえなさい。

(仿照例句, 将下列各句的句末, 改成“～なきゃ”的说法。)

例: 今日は、ちゃんとした服装をしなければいけません

→今日は、ちゃんとした服装をしなきゃ。

一人で作らなければいけません。

→一人で作らなきゃ

1. ネクタイを締めなければいけません

2. 上着を着なければいけません

3. :

以下从略。

如上述形式, 编排了会话、说明和练习。但有的只有说明而没有练习部分, 或者是把说明和练习结合在一起的形式。从练习的形式上来看, 除去有做替换造句的练习而外, 还有可供两个人进行对话练习的小短文。

教材中的中文翻译和其说明部分是专为学习者在预习时使用的, 但是要特别加以注意的是在课堂上要创造一切条件尽可能多地使用日语。希望各位教师在教学中不光是让学习者死记硬背课文中的句子或几个相连的句子, 而是培养学习者运用自己所学过的知识来表达自己的思想意志, 或者是把这些所学过的知识融汇贯通变成自己的语言, 应用于实际生活中去。

另外教师在教会话中的句子时, 不应该使学生只停留在理解的阶段上, 而应该是训练他们就象背熟台词一样直到能完全脱离书本脱口说出为止。会话不是阅读的材料, 而是进行会话练习的口语教材。

各位教师在指导学习者学习的过程中, 一定还要注意结合学习者本人的学习能力及其学习目的来进行教学活动。除去使用教科书之外, 千万不能忽视准备其会话文的辅助教材和相应的练习内容, 另外还要注意各地区所使用的不同说法。

〔会话练习的指导提示〕

1. 与预习的关系

课堂上教师教学活动的进展情况与学习者事先预习的程度有很大的关系。如果对会话没有做很好地预习, 那么教师在课堂上就很难让学生达到脱口而出的程度。所以教师必须培养学生自觉进行预习的良好习惯。最好是能把录音机的使用方法、出声练习的方法等向学习者做详细具体的示范指导。如果条件允许的话, 还可以把下一次所要讲授的新的会话的一部分让学习者念出来, 并且告诉他们应该注意的地方。为了保证学习者不仅能够完成作业而且感

到有收获,教师布置作业的量要适当。布置比较多量的预习,有时能够促进学习者的学习,但是更要注意的是要布置确实能使他们掌握得了的预习内容。

2. 在课堂上

即使是在一个学生的家里,教师和学生一起围坐在被炉边进行单独教授,这也是一间相当不错的教室了。但是进行这种单独式教学时,往往容易放松对学生的严格要求。使学生在轻松愉快的气氛中学习和对他们进行严格训练不是互相矛盾的,反之松松垮垮、拖拖拉拉的教学方法不是对学生认真负责的态度。

a《会话》

教师没有必要向学习者直接查问:“你们预习了吗?”。学生是不是做了预习,教师只要根据本课所要讲授的会话内容提出几个问题,就可以从他们的回答中很清楚地了解到每个人的预习程度。为了了解学习者对会话文的理解程度,只是泛泛提问:“明白了吗?”,是根本不能掌握真实情况,所以教师在教学中切忌这种简单的形式主义的教学方法。学习者是否切实掌握了一定的知识,是要取决于教师的教学方法的。学习者即使是说,“我明白了。”,但往往实际上并没有真正明白。

举课文中林达雄的会话句为例。“林:老师,明天我想请假。”这个时候,教师如果要想检查学习者是否已经懂得“明天”这个单词的意义时,可以提出下面的一些问题:①老林他要什么时候请假?②老林是不是今天要请假?等来代替“‘明天’这个词是什么意思?”的问法。

在念课文时,不是让学生从开始就一念到底,而教师也要亲自担当会话中的某一个角色,并且要以身做则用自然流畅的会话体做范读,然后再让大家展开阅读练习。在练习的过程中教师也要向学习者尽可能多地介绍准确、标准的日本语。

对会话文里出现的新词语,在备课时不仅要准备这些词语的解释及其使用方法,还应该准备一些问题来检查学习者是否已完全掌握。另外在范读课文以前教师也要做好充分的准备,切实为学习者起到榜样的作用。

b《练习》

在指导学习者进行活用形练习或者单句的口头替换练习时,不应只局限于课本上的例句,教师最好是根据学习者的能力、兴趣等,适当地增加一些练习用的词汇和例句。

做课文中的对话练习时,也要根据课文出现的句型,准备一些经过扩充或者是变化了的会话内容,这样做既能活跃课堂气氛,又有助于检查学习者理解和消化的程度。

另外教师至少还要把教科书中的会话内容记住,如果教师一边看课文一边进行会话,势必会失去会话的真实性而影响教学授课效果,那就不是说话而是“念”话了。

在现实生活里是没有举着书本来说话的,即便在教室里,教师也要反复向学习者强调,

在说话时一定要注意对方的面部表情。在日常会话中，双方的面部表情和相应的动作也是非常重要的。

“再来一遍！”教师一定要用这样的要求来反复地严格地训练学习者。在强调他们反复进行练习的同时，还必须注意不厌其烦地做示范表演。

对学习者的缺点、错误，教师不能用“不对！不行！”这种简单的说法来一语概括，这样做只能增长学习者的急躁情绪。教师要用这样的话：“这样练就一定能会。”、“因为你是这样练的，所以就会了。”等话来不断地鼓励他们所取得的哪怕是点滴的成绩，并且循循善诱，不断使他们感到征服学习上种种困难的胜利感和喜悦感。教师的责任是传授知识，是通过深入浅出的讲解，将复杂深奥的知识变得简明易懂，使学习者从开始的“不会”到会，从“不行”到行，直至完全掌握为止，只有这样才能真正尽到一个教师的职责。

この本の特色と生かし方

この教科書は、文化庁刊『中国からの帰国者のための生活日本語(生活日语)』の学習を終えた人たちが次の段階の学習に進むときに使用することを企図して作成されたものである。

したがって、教科書のもっている特色は、基本的には『生活日本語』と同様に、「一時的な外国人来訪者とは異なり、より深く日本の生活に入り込んで活動し、働いていく人たちにとって必要な日本語能力を身に付けさせる」ことを重要な目的としており、同居家族との会話、近所の人々や知人とのあいさつや言葉のやりとりなどが内容の大きな柱となっている。

教材として採用されている日本語そのものは、日常生活で耳にする自然な日本語を基調としており、人工的な表現や教材の便宜のために歪められた言葉遣いは避けてある。また、数週間、あるいは数か月の学習期間が過ぎなければ実用的な会話ができないという行き方ではなく、学習したことがらについては即日使用が可能になるように配慮してある。これは、帰国者が、不十分な日本語を使用して生活しつつ、その中で更に日本語の学習を進めなければならないという学習環境を大切に考えたからである。

『生活日本語』では、学習者にとって最も必要な日本語が何であることを示すことと、少ない表現力で生き抜いていくための戦略的な技術を身に付けさせることに目標が置かれた。言葉の使用される環境、帰国者が行動する中で遭遇する場面に関する情報や耳にする日本語も省略することなく提示されていた。これは、たとえ学習者が一つの文表現を覚えていたとしても、使用場面についての知識がなければ言語使用は成り立たないという仮説に基づいた方針であった。

しかし、このやり方は、行動能力を身に付けさせるという点では有益であっても、日本語そのものを、組織的・体系的に習得していくという点では弱点を伴いやすい。教師が外国語教育の専門家でない場合には、その危険性は特に大きい。この教科書『生活日本語Ⅱ』は、日本語そのものの習得に焦点をあて、文法的に、あるいは語彙使用の面でがっしりとした積み重ねができるようにと意図して制作されたものである。

『生活日本語』で学習し、身に付いた能力を、もう一度復習し直し、その上に新しい表現を確実に習得していくように、会話文や練習が用意されている。提出されている言葉の一つ一つを大切に、厳しい練習がなされることが期待される。

〔全体の構成〕

全体の構成は九つの課と練習項目索引・語句索引とから成り立っている。中心部分である九つの課で取り扱っている場面は、届出、指示と依頼、掃除、洗濯、料理、服装、器具、日曜大工という各課の題目が示しているように、日常生活の場が中心となっており、そこで交わされる会話表現が中心素材となっている。

この、九つの課の中での難易度の差は、会話文についてはほとんどない。練習項目についても、初級段階のように厳しく段階づけはしてないが、全体としてみれば、易しいものから少しずつ難しいものへと進むように配慮してある。また、最も基本的な表現に、やや豊かさを加えた会話能力がこの教科書を終了した段階で獲得できることを目標としている。

提示されている会話本文の割合に比べ、説明と練習がたくさん用意されているのが、この教科書の特徴の一つである。各課の平均で言えば、1課平均25個の説明と練習が付いている。

特に、この練習への配慮を軸にして、九つの課は、第一部と第二部に分けられ、第一部(第1課、第2課)では、『生活日本語』で学習した事柄の復習に重点を置き、基本的な文法事項の確認も徹底的に繰り返してするようにしてある。動詞や形容詞の活用形の練習も基礎的なものからやり直すことになっており、第3課からの第二部に比べ説明、練習部分の占める割合が圧倒的に多い、第二部(第3課―第9課)でも、復習に対する配慮はなされているが、主たるねらいは、新しい表現をより多く習得させていくことにある。

練習項目索引は、各課の練習項目を品詞別に分類、整理したものである。文法項目を体系的に学習させたいとき、学習が十分でない項目を抜き出して家庭学習させたいときなどに活用されたい。

語句索引は、利用者の便を図るため、一つ一つの言葉の用例が分かるように採取しており、また、会話本文についてだけでなく、練習部分に現れている語についても、新出語が検索できるようにした。学習者が予習や復習に際して十分に利用することが望まれる。

〔各課の構成〕

それぞれの課は、次のような形式で構成されている。

- 解 説 (中国語)
- 会話-1
 - 会話-1についての説明及び練習

-
-
-

○ 会話-2

○ 会話-2についての説明及び練習

-
-
-
-

○ 会話-3

○ 会話-3についての説明及び練習

-
-
-
-

○ 会話-4

(以下 略)

冒頭の解説は中国語文しか付いていないが、同じ内容の日本語文は巻末の語句索引の前に掲載されている。また、会話文には、すべて中国語訳が付いており、説明、練習の中でも、新出語などは必要に応じて中国語を併記してある。

中国語訳での用語はできるだけ自然な表現であることを旨としているが、中国語にはない表現、あるいは学習者に理解しにくい言葉など、解説的な表現を工夫してある。学習者の日本語理解に誤解が起こらないよう、また、習得により役立つよう心掛けた。

(解 説)

その課で扱われている場面について、日本人の生活習慣や知識を要領よくまとめて解説したものである。できるだけ生活の知恵としての役割を果たすよう具体的な説明にしてあるが、具体的であるために問題点も残されている。例えば、恐らく、多くの地域では通用するコインランドリーの使用法が、ある町では、あるいは、ある店では異なっていることがあるであろうし、食事の習慣にも個人差があって、解説の中で言っている一般的なものでない場合もあるに違いない。学習者の生活環境に即した生活の知恵に対する配慮が必要となる。

(会話と説明及び練習)

会話は各課に五つないし八つずつ配分されている。それぞれの会話文例の長さは、第1、2、3課など、初めの課では比較的短い、後半になると長いまとまりの例が現れてくる。説明及び練習は、それぞれの会話文例の後に続けて提出してあり、教授作業としては、一つの会話文例と説明、練習がひとまとめでできるようにしてある。

構成の仕方を略示すると次のようになる。

例：会話

〔会話-1〕 服装の点検

林さんは、今日、会社の面接に行きます。朝、服装を点検します。

- 1 林 : 今日は、ちゃんとした服装をしなきゃ。スーツは、クリーニングしてあるね。
- 2 夫人: ええ、大丈夫です。
- 3 :

〈会話部分の翻訳〉

〔会話-1〕 服装的检点

老林今天要去参加公司的面试，早上检点服装。

- 1 林 : 今天我得穿整齐一点儿，西服送洗染店洗好了没有？
- 2 夫人: 洗好啦！
- 3 :

〔会話-1〕 のための練習

〈説明〉

1. ちゃんとした服装（整整齐齐的服装）

「ちゃんとした」は「きちんとした」と大体同じ意味の言葉で.....
.....

同上 中国語訳

〈説明〉

2. しなきゃ (得……)

「しなければ」の縮約形で、……

同上 中国語訳

〈練習〉

練習2-1.

例にならって「～なきゃ」で終わる文にかえなさい。

(中国語訳……)

例: 今日は、ちゃんとした服装をしなければいけません

→ 今日は、ちゃんとした服装をしなきゃ。

一人で作らなければいけません

→ 一人で作らなきゃ。

1. ネクタイを締めなければいけません

2. 上着を着なければいけません

3. :

以下、説明と練習が続く。

以上のような形式で会話、説明、練習が配置されているが、説明の1の場合のように、説明があって練習がないもの、説明の2の場合のように説明、練習ともにあるものがある。練習の形式はここにあげられているように文を作りかえるだけのもののほか、ひとまとめの

会話の流れを二人で話し合う形のものもある。

翻訳説明は学習者が予習するために使われ、教室では、できるだけ日本語を使う時間を多くすること、さらに、教科書にある文や文のつながりを暗誦できるようにするだけでなく、学習者が自分の考えで意見を言ったり学習者自身のことについて話したりさせて学習者自身の言葉にしていこう練習させなければならない。

会話の文章も、理解して分かるという段階にとどめず、お芝居のせりふのように、教科書を見ないで言うところまで訓練することが望ましい。会話文は、読解の材料ではなく、話し言葉の題材である。

学習指導に当たっては、学習者の能力や目的に合わせて訓練することが教師の大切な役割となる。それに沿った副教材、練習材料を準備することを怠ってはならない。また、地域の言葉に対する配慮も忘れてはなるまい。

〔会話練習指導のためのヒント〕

1. 予習との関係で

教室での作業の内容は、予習の出来上がりとの深い関係がある。よく予習が出来ていないと、教室での学習が、その表現を自動的に言えるところまで持っていけなくなる。予習の習慣をしっかりと付けさせたい。そのためには、テープレコーダーの使い方、声を出して練習するなどの予習の仕方を具体的に見せておくといよい。できれば、次回に学習する部分の一部を読ませ、こういうところに注意して予習しなさいと指摘しておく。達成感を持たせるために宿題の量を加減することも必要である。たくさんの量をこなしてくるよう指示することも時にはよいが、深く確実に身に付くよう予習の適切な量への配慮も大切である。

2. 教室の中で

だれかのうちで、こたつを囲んで個人教授をする場合も、そこは立派な教室となる。ともすれば個人授業では、学習者を甘やかしてしまいがちである。やさしく楽しく勉強をさせることと、ビシビシ練習することとは矛盾しない。だらだらしたやり方は、本当の親切ではない。

a. 「会話」

「予習してきましたか」といちいち尋ねる必要はない。してきたか、してこなかったかは、その課の会話の内容について、幾つかの質問を用意していて、問いかけてみればすぐ分かる。内容を理解しているかどうかについて「分かりますか」と尋ねるのはタブーである。分かっているかないかは、教師の責任で確かめなければならない。学習者が、「分かりま

す」と答えても誤解していることも少なくない。

林:「あのう先生、あした休みたいんですが」という例文について「あした」の意味が分かっているか確かめたいときには、「林さんは、いつ休みたいんですか」「林さんは、今日休みたいんですか」等々の質問をすることにより、「あしたの意味が分かりますか」に代えることができる。

初めから学習者だけに読ませるのではなく、教師が登場者の一人の分を担当して読むなどして、話し言葉らしいお手本を見せてから読みの練習を展開していくのは、練習の場合にも共通して言えることで、できるだけたくさんよい日本語を学習者に示す役割を教師は期待されているのである。

会話文の中にある、言葉の意味や用法について説明するための準備だけでなく、学習者が理解しているか否かを確かめるための質問を十分に用意すること、お手本としてのよい読み方ができるよう準備をしておくのも教師の務めである。

b. 「練習」

活用形の練習や単文の言い換え練習では、教科書に出ている例だけではなく、学習者の能力や興味に合わせ、追加して練習するための語例、文例を用意しておくといよい。

会話のやりとりの練習でも、教科書にある形を発展、変化させたものを用意しておくとい授業は楽しくなる。覚えたかどうかを確かめるのにも役に立つ。

少なくとも教科書に出ている形は、教師は、暗記しておくべきで、教師が本を見ながら練習を指導しているようでは生きた会話の練習にならない。

実際の会話では、本を見ながらすることはない。相手の顔を見ながらするのが重要なのだということを教室内の練習でも意識するようにしたい。表情や動作を伴わせることも大切である。

「もう一度」という指示を繰り返し、完全にできるよう何度も繰り返し言わせる厳しさも忘れてはならない。その際には、学習者に繰り返させるだけでなく、よいお手本をいちいち与えることが重要だ。

学習者の間違いや欠点を、「駄目です」と指摘するだけでは、欲求不満が募りやすい。こうすればできる、こうしたからできたという習得、克服の喜び、満足感を与えるように指導したい。教師の役割は「難しいこと」を「易しくすること」であり、「駄目なこと」を「駄目でなくすること」である。

だいいつ か どけ で
第1課 届 出 (请示)



在学校学习或在公司上班时，如果有不得已的情况必须休息，那么一定要提前请假。另外，在迟到或早退时，也要尽可能提前向学校或公司进行联系。假如无故缺席、缺勤或者无故迟到、早退，就会使周围的人因此而为你担心，同时也会给别人带来不必要的麻烦。有些公司、工厂，请假条往往有规定的写法。

当你要请假时，必须要讲明理由。另外，在缺席或早退以后上班的时候，首先要向周围的人打招呼。因为在当时，大家都曾为你担过心。在这个时候，你能说一句“对不起了。”或“让您操心了。”，那就会给别人留下一个很好的印象。

在日本，人们在外出遇见邻人打招呼时，常常这样说：“我要出门了，麻烦您给照应一下儿。”实际上这已经成了人们相互之间进行问候的一种习惯。另外，在自己家里也是这样，最好在出门之前，先跟家里人打声招呼，说清要到什么地方去、大约需要多长时间等，免得家里人不放心。

〔会話-1〕 あした、用事で欠席するのを届ける

林さんは、あした九州から弟が来て、学校を休まなければならぬので、先生に届けます。

1 林 : あのう、先生、あした休みたいんですが。

2 先生 : ええ、いいですよ。でも、どうしてですか。

3 林 : 実は、九州から弟が来るんです。

4 先生 : ああ、そうですか。それは楽しみですね。

5 林 : はい。

6 先生 : はい、分かりました。



〔会話-1〕 明天因为有事向老师请假

老林的弟弟明天要从九州来，他不能去学校，向老师请假。

1 林 : 老师！明天我想请个假……

2 老师 : 好啊，有什么事情？

3 林 : 我的弟弟要从九州来。

4 老师 : 是吗？那可真是一件高兴的事。

5 林 : 嗯。

6 老师 : 好吧，我知道了。

〔会話-1〕 のための練習 (〔会話-1〕 的练习)

1. あのう (嗯……)

人に声をかけるときの言葉。「すみません」も同じ意味で使われますが、「あのう」には遠慮やためらいの気持ちが含まれます。このように日本語には、話を始めたり答えたりする

前の切り出しの言葉、相手の注意を自分に向かせるための言葉が幾つかあります。「あのう」「あの」「ええと」などがそうです。「あのう」是人们在讲话时打招呼用的，和“すみません”（请问、劳驾、对不起等）的用法差不多，表示说话人客气或犹豫的一种心情。象这样的，在要说话以前或者要做出回答以前，引出话头的说法和引起对方注意的说法，还有以下几种，例如：“あのう”、“あの”、“ええと”等等。）

★練習1-1

「あのう」などの言葉を使った文をテープにならって繰り返しなさい。（请模仿录音中使用“あのう”等词语做成的练习句，反复进行练习。）

1. <あした休みたいことを先生に届けます>（向老师提出明天要请假。）

——あのう、先生、あした休みたいんですが。（嗯——老师，明天我想休息……）

2. <自分の机の上にある本が、だれの本であるか隣の人に尋ねます>（向同座打听放在自己桌子上的书是哪一位的。）

——ええと、この本はどなたのでしょうか。（这个——这本书是谁的呀？）

3. <電気屋に買物に行って、テレビを買いたいことを伝えます>（到电器商店告诉店员要买电视机。）

——あのう、テレビが欲しいんですが。（劳驾，我想买台电视。）

4. <道で、駅までの行き方を尋ねます>（在路上打听去车站的走法。）

——あの、駅はどう行ったらいいでしょうか。（请问，我要去车站，怎么走好呢？）

5. <「あしたは何曜日ですか」と聞かれて答えます>（回答别人提出：“明天是星期几？”的问题。）

——ええと、木曜日です。（嗯，是星期四。）

6. <日本語で何と言うか尋ねます>（向别人打听某件东西的日语叫法。）

——あのう、これは日本語で何と言いますか。（请问，这个用日语怎么说？）

7. <辞書を貸してほしいので先生に聞きます>（向老师借词典。）

——あのう、すみませんが、辞書を貸していただけませんか。（对不起，老师，请把词典借给我好吗？）

8. <あなたの御主人（奥さん）あてに電話がきました。今、留守であることを伝えます>（有人给你的爱人来了电话，但他或她刚巧不在家，这时你向对方说明这个情况。）

→ ええと、今、ちょっと出かけていますが。(嗯——，他(或她)现在不在家。)

9. <「御主人(奥さん)は、いつ帰りますか」と聞かれて、5 時ごろ戻ることを伝え
ます>(当对方问到你的爱人“什么时候能回来?”，你告诉对方：他或她在 5 点左右
回来。)

→ ええと、5 時ごろには戻りますが。(嗯——，他(或她)5 点左右回来。)

10. <区役所で外国人登録の係がどこか尋ねます>(在区役所打听“外国人登记处”在
什么地方。)

→ あもう、外国人登録はどこですか。(请问，“外国人登记处”在哪儿?)

2. あした休みたいんですが(明天我想请个假……)

自分の希望を述べて許可を得る表現で、それを柔かく言うために、「～んですが」を付け
ます。本来は、その後に「～どうでしょうか」「～よろしいでしょうか」などが続きます
が、省略してもかまいません。「～んですが」については、会話 5 の 2 の説明を参照してく
ださい。(这句话是向对方提出自己的请求并希望得到许可时的一种说法，为了说得更客气而
用“～んですが”。本来在它的后面往往要加上“～どうでしょうか”(怎么样呀?)、“～よろし
いでしょうか”(可以吗?)，但是省略掉不讲也没有什么关系。关于“～んですが”请参看(会
话-5)的 2 の説明。)

● 動詞の復習(动词的复习)

動詞は活用の仕方から次の 3 種類に分けられます。(动词按其活用分为如下三种。)

(1) 五段動詞(五段动词)

活用する部分が「かきくけこ」「まみむめも」などのように五十音図(あいうえお表)の一
つの行の五つの段全体にわたる動詞。「書く」「話す」「立つ」「読む」「帰る」など多くの動詞が
あります。(动词的活用部分是均匀地分布在“かきくけこ”“まみむめも”等五十音图表(あ
いうえお表)的某一行的五个段上，这种动词叫“五段动词”，例如：“書く”、“話す”、“立つ”
“帰る”等，这种动词的数量最多。)

例：書く(写)　読む(读、念)

かか　　よま　　～ない(ナイ形)(连接表示否定的“ない”时的形式)

かき　　よみ　　～ます(マス形)(连接敬体的“ます”时的形式)

かく　　よむ　　(辞書形)(基本形。就是在辞典上出现的，动

词的最基本的形式)

かけ	よめ	～ば (バ形)	(连接表示条件的“ば”时的形式)
かこ	よも	～う (ウ/ヨウ形)	(连接表示意志和劝诱等的“う” “よう”时的形式)

かけ	よめ	(命令形)	(表示命令时的形式)
----	----	-------	------------

この本では、「マス形」は、動詞に「ます」を付けた形(例: 書きます)ではなく、その形から「ます」を取った形、すなわち「書きます」なら「書き」、「読みます」なら「読み」の形をさします。マス形以外の形は、「ナイ形」は「書かない」、「バ形」は「書けば」のように、「ない」「ば」「う」(五段動詞の場合)あるいは「よう」(一段動詞の場合)を含んだ形をさすことを注意してください。(在这一册书里, 所提到的“マス形”不是指的“动词+マス”的形式, 如“書きます”, 而是指从上面这种形式里去掉“マス”后的形式。也就是, 象“書きます”的“マス形”就指的是“書き”, “読みます”的“マス形”指的是“読み”的形式。除去“マス形”以外, 象“ナイ形”是指“書かない”, “バ形”是指“書けば”, “ウ/ヨウ形”是指“書こう/見よう”等, 含有“ない、ば、う/よう”等的形式, 请大家注意它们的区别。)

(2) 一段動詞 (一段动词)

活用する部分のはじめに共通して五十音図のイ段(イキシチニヒミリ)の音か、エ段(エケセテネヘメレ)の音を持つ動詞。辞書形は必ず「る」で終わります。イ段の音の動詞には「起きる」「見る」「借りる」などがあり、エ段音の動詞には「教える」「食べる」「寝る」などがあります。(动词的活用部分的前一个音都是一样的, 或是五十音图的イ段(イキシチニヒミリ)的音, 或是エ段(エケセテネヘメレ)的音, 这样的动词叫“一段动词”。这些动词的基本形的词尾一定都是“る”。イ段动词有“起きる”、“見る”、“貸りる”等, エ段动词有“教える”、“食べる”、“寝る”等。)

例: 起きる(起床) 寝る(睡觉)

起き	ね	～ない (ナイ形)
起き	ね	～ます (マス形)
起きる	ねる	(辞書形)
おきれ	ねれ	～ば (バ形)
起き	ね	～よう (ウ/ヨウ形)
おきろ	ねろ	(命令形)

(3) 例外動詞 (特殊动词)

(1)、(2)のどちらの型にもはまらない不規則な活用をする動詞。「来る」「する」の二つと、「持ってくる」(拿来)「行ってくる」(去一下就来, 去一下)「勉強する」(学习)「掃除する」(做

掃除) などのような、「来る」「する」を含む複合的な動詞。(如果动词的活用形式既不是属于五段动词的活用, 也不是属于一段动词的活用, 而是不规则的形式, 那么这样的动词叫“特殊动词”。分别有“くる”和“する”以及由这些动词组成的复合动词。例: “持ってくる”(拿来)、“行ってくる”(去一下就来, 去一下)、“勉強する”(学习)、“掃除する”(做卫生)等。

例: 来る(来)	する(做, 于)	
こ	し	～ない (ナイ形)
き	し	～ます (マス形)
くる	する	(辞書形)
くれ	すれ	～ば (バ形)
こ	し	～よう (ウ/ヨウ形)
こい	しろ	(命令形)

なお、ラ行の五段動詞には特別な注意が必要です。つまり、「切る」「帰る」などは辞書形が「イ段音+る」あるいは「エ段音+る」で終るため、一見、一段動詞のようですが、活用を見てみると五段動詞であることが分かります。五段動詞の「切る」と一段動詞の「着る」の活用を比べてみましょう。(另外要特别加以注意的是ラ行的五段动词。也就是说象“切る”、“帰る”等这些动词, 因为基本形都是以“イ段音+る”或者“エ段音+る”为结尾的, 所以乍一看去好象是一段动词一样, 但是我们只要观察这些动词的活用, 就可以得知它们都属于五段动词的活用。下面就比较一下这两种动词的活用。)

例: 切る(切, 剪)	着る(穿)	
きら	き	～ない (ナイ形)
きり	き	～ます (マス形)
きる	きる	(辞書形)
きれ	きれ	～ば (バ形)
きろ(う)	き(よう)	(ウ/ヨウ形)
きれ	きろ	(命令形)

★練習 2-1

例にならって形をかえなさい。「～たい」の形はマス形に「たい」を付けて作ります。(仿照例子, 改变动词的形式。“～たい”接在“マス形”的后边。)

例1: 五段動詞 (五段动词)

行く → 行きます → 行きたい

1. 書く → →
2. 話す → →
3. 立つ → →
4. 呼ぶ → →
5. 休む → →
6. 買う → →
7. 帰る → →
8. 乗る → →

例2：一段動詞（一段动词）

食べる → 食べます → 食べたい

1. 見る → →
2. 寝る → →
3. 開ける → →
4. 閉める → →
5. 教える → →
6. 起きる → →
7. 降りる(下、下来、发下来等) → →
8. 着る(穿) → →

例3：例外動詞（特殊动词）

くる → きます → きたい

する → します → したい

1. 勉強する → →
2. 買ってくる → →
3. 掃除する → →
4. 運んでくる(搬来) → →
5. 食べてくる → →
6. 電話する → →

★練習2-2

例にならって練習しなさい。(仿照例子，进行练习。)

例：行く → 先生、行きたいんですが

1. 書く →
2. 休む →
3. 見る →
4. 帰る →
5. 持ってくる →
6. 休憩する(休息) →

3. 実は、九州から弟が来るんです(我弟弟要从九州来。)

「実は」は(说实在的)の意味で、相手が全く知らない話題を持ち出すときや、打ち明け話などをするときの切り出しの言葉として使います。また、そういうときは、「～んです」という形で文をしめくくのが普通です。「実は～んです」の形でよく覚えてください。(“実は”相当于中文里“说实在的……”的意思,它是一种引出话题的开头话,往往是说话人用于提出对方根本不了解的话题或者是在说出自己的心里话之前讲的话头。这个时候,句子多以“～んです”的形式做结尾。请大家学会使用“実は～んです”这种说法。)

★練習3-1

例にならって練習しなさい。(仿照例子, 进行练习。)

例: 病気です → 病気なんです

1. 学生です →
2. 日曜です →
3. 休みです →
4. 風邪(感冒)です →
5. 大変です →
6. 静かです →

★練習3-2

例にならって練習しなさい。(仿照例子, 进行练习。)

例: 来ます → 来るんです

1. 食べます →
2. 行きます →
3. あります →

4. 泳ぎます(游泳) →
5. 仕事します →
6. 帰ってきます(回来) →

★練習3-3

例にならって練習しなさい。(仿照例子, 进行练习。)

例: 兄が来ます → 実は、兄が来るんです

1. 妻が病氣です →
2. 熱があります →
3. 子供が大変です →
4. 父が帰ってきます →
5. 病院へ行きます →
6. 会社が休みです →

4. あした休みたいんですが。……実は、九州から弟が来るんです (明天我想请个假。……)

因为我弟弟要从九州来。)

日本語では、何か聞いたり頼んだり、許可を求めたりするときには、その用件を表す文が先にきて、その後で理由を述べることがよくあります。ここでも「九州から弟が来るので、あした休みたいんですが」と理由を先に出すと押しつけがましい感じがして失礼な印象を与えるので、まず許可を求めてから理由を説明しています。(在日语里, 如果要向别人打听什么, 或者是请求别人为自己做什么, 或者求得对方的许可, 常常是先提出自己的要求, 然后再说出理由。上面这句话要是先把理由提出来这么说: “九州から弟が来るので明日休みたいんですが”(因为我弟弟要从九州来, 所以明天我想请假。), 就会给人以一种强加于人的感觉, 而显得不礼貌, 因此我们遇到这种情况时, 先要征求对方的同意之后, 再说明理由。)

★練習4-1 <会話練習>

例にならって の部分の言葉をかえて会話をしなさい。(仿照例子, 变换 部分中的词语, 进行练习。)

例: あした休みたい, 弟が来る

A: あのう、 なんですが。 (嗯, 明天我想请假。)

B: ええ、いいですよ。でも、どうしてですか。(好啊, 怎么啦?)

A: 実は、弟が来るんです。

(是这么回事，我弟弟要来。)

B: ああ、そうですか。

(啊，是吗?)

1. あした休みたい，親戚の人(亲戚)が来る
2. 今日早く帰りたい，区役所に行く
3. 来週休みたい，用事で大阪まで行く(下周要请假、有事去大阪)
4. 今日休みたい，子供が熱を出した(今天要请假、孩子发烧了)
5. 今日は午前中で帰りたい(今天中午想回去。)，午後中国の友達が来る
6. 土曜日休みたい，引っ越しをする(星期六要请假、搬家)

5. それは楽しみですね (那可真是一件高兴的事、那真不错啊)

相手に、これから何か良いことがあると分かったときに言う、一種のあいさつの言葉。

(在谈话时，知道对方将会有什么好事时，向对方说的应酬话。)

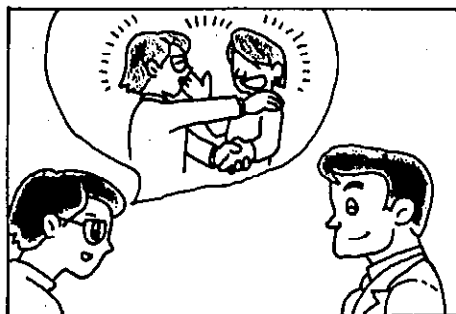
〔会話-2〕 欠席した次の日のあいさつ

林さんは、弟が来て欠席した次の日、先生にそのことを報告します。

1 林 : 昨日は どうも失礼しまし
た。

2 先生: いいえ。で、どうでしたか。

3 林 : ええ、本当に 楽しかった
です。



4 先生: そうですか。それは よかったですね。

〔会話-2〕 第二天向老师打招呼

请假后的第二天，老林向老师报告弟弟来的情况。

- 1 林 : 老师，昨天真对不起。
- 2 老师: 嗯，没关系。昨天怎么样啊？
- 3 林 : 昨天过得很愉快。
- 4 老师: 是吗？那太好啦。

〔会話-2〕のための練習（〔会話-2〕的练习）

1. 昨日は^{きのう}どうも失礼^{しつれい}しました。（昨天真是对不起。）

「失礼^{しつれい}しました」はここではあやまっているだけではありません。前日^{ぜんじつ}、特別^{とくべつ}の好意^{こうい}を受けたことを謝^{しや}しているのです。日本語では、好意^{こうい}を受けたわけではない場合^{ばい}でも、しばらくの間^{かん}を置いて出会^{であ}ったときに、次^{つぎ}のようなあいさつをします。（“失礼^{しつれい}しました”（对不起）在这里并不只表示道歉之意，还表示说话人在前一天接受了对方的善意行为后所说的感谢话。在日语中，即使是没有接受对方的善意行为，而在相隔一段时间后重新见面时，也要说如下的一些应酬话。）

例1. A: 先日^{せんじつ}はどうも失礼^{しつれい}しました。（前几天，真是对不起了。（谢谢您了。））

B: いいえ、こちらこそ。（哪里、哪里，我才失礼呢。（才该谢谢呢））

2. A: その節^{そのふし}はどうも失礼^{しつれい}いたしました。（那个时候，真是对不起了。（真是谢谢了））

B: こちらこそ、失礼^{しつれい}いたしました。（我才失礼呢。（才该谢谢您呢））

このようなあいさつは、前回共有^{ぜんかいきやうゆう}した事実^{じじつ}を確認^{かくにん}し合うことがあいさつになっているのであり、「先日^{せんじつ}」「その節^{そのふし}」がいつのことだったか相手^{かいた}にすぐ分^わかるときに使^{つか}われます。（象这样的应酬话，一般是谈话的双方对上次曾在一起做过的什么事情，重新提出而进行问候的一种说法。至于“先日”（前几天）、“その節”（那个时候）到底是什么时候，只要一经提起，对方马上就能知道，在这种情况下，多用这种问候。）

★練習1-1

テープにならって言いなさい。（请跟录音做口头练习。）

1. 昨日^{きのう}はどうも失礼^{しつれい}しました。 ↔ いいえ、こちらこそ。
2. 先日^{せんじつ}はどうも失礼^{しつれい}いたしました。 ↔ こちらこそ、失礼^{しつれい}しました。
3. その節^{そのふし}はどうも失礼^{しつれい}いたしました。 ↔ いいえ、こちらこそ失礼^{しつれい}いたしました。
4. この間^{かん}（上次）はどうも失礼^{しつれい}しました。 ↔ いいえ、こちらこそ。

〔会話-3〕 家族の者の欠席を届ける

林さんは、授業が始まる前に、先生に奥さんの欠席を届けます。

- 1 林 : あのう、先生。
- 2 先生: あ、林さん、何ですか。
- 3 林 : 家内が 今日 休ませていただきたいと言っているんですが。



- 4 先生: あ、奥さんが、どうしたんです?
- 5 林 : はい、昨日の夜から 頭が 痛いと言って……。
- 6 先生: ああ、そうですか。分かりました。お大事に。

〔会話-3〕 给家里人请假

上课前，老林替自己的爱人向老师请假。

- 1 林 : 老师！
- 2 老师: 老林，什么事儿？
- 3 林 : 我爱人说她今天想请个假。
- 4 老师: 你爱人怎么啦？
- 5 林 : 她说她从昨天晚上就头疼。
- 6 老师: 好吧，知道了。请她多加保重吧。

〔会話-3〕 のための練習 ((会話-3) 的练习。)

1. 家内(爱人、妻子、老婆、老伴、家里的)

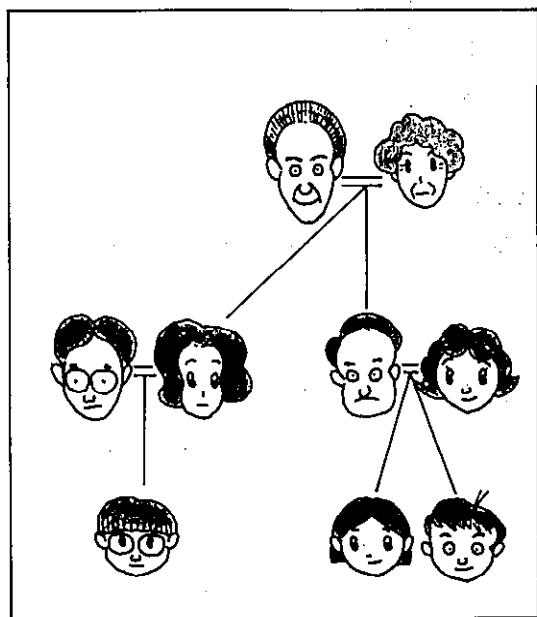
自分の妻を指して言う言葉。「女房」「妻」と呼ぶこともあります。他人の夫人を指して言うときは「奥さん」「奥様」などを使います。家族を指して言う言葉は、自分の家族を指して言うときと、他人の家族を指して言うときと違うのが普通です。自分の家族については謙讓の意味を込めた言葉、他人の家族については尊敬の意味を込めた言葉を使います。(“家

内”指自己的妻子，也可以说“女房”、“妻”。如果是说别人的妻子时，那么就要说“奥さん”、“奥様”等。平常，称呼自己的家属和称呼别人的家属，说法是不一样的。当称呼自己的家属时，要用含有谦虚之意的说法，当称呼别人的家属时，就要用含有尊敬的说法。)

★練習1-1

次の言葉を覚えなさい。(请记住下面说法。)

(私の)家内	——	(先生の)奥さん
(私の)女房	——	(先生の)奥さん
(私の)妻	——	(先生の)奥さん
(私の)夫	——	(先生の)ご主人
(私の)主人	——	(先生の)ご主人
(私の)息子	——	(先生の)息子さん
(私の)娘	——	(先生の)お嬢さん
(私の)子供	——	(先生の)お子さん
(私の)父	——	(先生の)お父さん
(私の)母	——	(先生の)お母さん
(私の)兄	——	(先生の)お兄さん
(私の)姉	——	(先生の)お姉さん
(私の)弟	——	(先生の)弟さん
(私の)妹	——	(先生の)妹さん



家族内の、お互いの呼び方については第5課会話4の3を参照。(关于怎样称呼自己家属的问题，请参看第5课〔会话-4〕的3。)

2. 休ませていただきたい(想请个假。)

休むことを許可してほしいの意味。「休ませてもらいたい」をさらに丁寧に言った形です。「休ませて」は「休ませる」が変化した形で「～せる」は(准许、使、叫)の意味です。(这句话的意思是：“请准假”的意思。它是“休ませてもらいたい”这句话的恭敬的说法。“休ませて”是“休ませる”的变化形式，“～せる”是准许、使、叫等的意思。)

★練習2-1

例にならって「～せる」の形を作りなさい。「せる」は動詞のナイ形からナイをとった形

に付きます。最初は五段動詞です。(仿照例子, 用“～せる”做造句练习。“～せる”是从动词的ナイ形里, 把“ナイ”去掉后接在“せる”的形式。开始做五段动词的练习。)

例: 休む → 休ませる

1. 読む →
2. やる →
3. 書く →
4. 立つ →
5. 帰る →
6. 行く →

★練習2-2

次は一段動詞と例外動詞です。一段動詞と「くる」に付けるときは、ナイ形に「～させる」の形を付けます。「する」はそのまま「させる」にします。(下面做一段动词和特殊动词的练习。“せる”接在一段动词和“くる”时, 是在“ナイ形”的后面接上“させる”; “する”直接接在“させる”。)

例: 食べる → 食べさせる

する → させる

来る → こさせる

1. 開ける →
2. 見る →
3. 着る →
4. 持って来る(拿来) →
5. 閉める(关、关闭) →
6. 休憩する →

★練習2-3

五段動詞と一段動詞、例外動詞をいっしょに練習します。答えの後に、1)五段動詞、2)一段動詞、3)例外動詞のどれかを選んでその番号を付けなさい。(下面这个练习是把“五段动词”、“一段动词”、“特殊动词”混在一起进行练习。回答时, 用数字分别标出哪些是“五段动词”、“一段动词”和“特殊动词”。)

例: 読む → 読ませる 1)

食べる → 食べさせる 2)

勉強する → 勉強させる 3)

1. 見る →
2. 聞く →
3. やる →
4. 閉める →
5. 来る →
6. 帰る →
7. 立つ(站, 立) →
8. 食事する →

★練習2-4

例にならって言いなさい。(仿照例子, 进行口头练习。)

例: 休ませる → 休ませて

1. 書かせる →
2. させる →
3. 食事させる →
4. 食べさせる →
5. やらせる →
6. 持たせる →

★練習2-5

例にならって言いなさい。(仿照例子, 进行口头练习。)

例: 休ませて → 休ませてもらう

1. 聞かせて →
2. 書かせて →
3. やらせて →
4. 仕事させて →
5. 降りさせて →
6. 帰らせて →

★練習2-6

例にならって言いなさい。(仿照例子，进行口头练习。)

例：休ませる → 休ませていただく

1. 使わせる →
2. 答えさせる →
3. 帰らせる →
4. 掃除させる →
5. 読ませる →
6. 待たせる →

★練習2-7

例にならって言いなさい。(仿照例子，进行口头练习。)

例：休む → 休ませていただきたい

1. 帰る →
2. 行く →
3. 電話する →
4. 使う →
5. 読む →
6. 働く(工作) →
7. 答える →
8. 来る →

★練習2-8

「だれかやりますか」(谁来做?)「だれかやりたい人いますか」(有谁想做?)という質問に對して答えるときなどには、「～させる」の「て」の形に「ください」を付けて表します。日本語では、「～したい」とか「～する」とかはっきり意志を表すことを避け、相手の許可を求める形にして表現することがよくあります。相手が許可をする権利のない場合でも許可を求めることにして、相手を尊重していることを表すのです。「～させてください」と「～させていただきたいのですが」は、ほぼ同じ意味を表しますが、後者のほうがより丁寧な形です。ただし、注意しなければならないのは、後者を「～ののですが」を付けずに言うと「～させてください」よりも強い依頼の言い方になってしまうことです。後者を使うときは「～

のですが」を付けて柔らげることを忘れないようにしてください。なお、会話文のように他人の許可・希望を伝えるときは、「～と言っているのですが」を付ければ強い言い方にはなりません。(当别人提出“だれかやりますか”(谁来做?)、“だれかやりたい人いますか”(有谁想干?)等类似这样的问题时,如果是表示自己主动地去做并希望得到对方的同意时,常常用“～させる”的“て”形加上“ください”这种说法。在日语中,人们往往是回避“～したい”或者“～する”等这种直截了当地向对方陈述自己要求的说法,而多采用征求对方同意的说法,来表示尊敬对方的心情。“～させてください”和“～させていたいただきたいのですが”的意思几乎一样,但后面这种说法显得更为恭敬一些。在这里须要提出注意的是,“～させていたいただきたいのですが”这句话,如果不加上“～のですが”,那么它就好比“～させてください”的语感更强硬,所以大家在用后面这种说法时,一定不要忘记加上“～のですが”而使语感变得更柔和、婉转。另外,象在课文的会话中出现的情况,在向对方转达他人要求时,用“～と言っているのですが”,并不算是强硬的说法。)

例にならって言いなさい。(仿照例子,进行口头练习。)

例: 休む → 休ませてください

1. 帰る →
2. 早退する(早退) →
3. やる →
4. 読む →
5. 休憩する →
6. 使う →

★練習2-9

例にならって言いなさい。(仿照例子,进行口头练习。)

例: わたしを書く → わたしに書かせてください

1. わたしが読む →
2. わたしがやる →
3. わたしが答える →
4. わたしが使う →
5. わたしが手伝う(我来帮忙) →
6. わたしが説明する(我来说明) →

3. 家内が今日休ませていただきたいと言っているんですが（我愛人说她今天想请个假。）
前の練習2-8の説明を参照。（请参考练习2-8的说明。）

★練習3-1

例にならって言いなさい。（仿照例子，进行口头练习。）

例：家内、今日 → 家内が今日休ませていただきたいと言っているんですが

1. 娘、あした →
2. 山田さん、来週 →
3. 林さん、今日 →
4. 息子、あした →
5. 主人、あさって →
6. 夫、土曜日 →

4. 昨日の夜から頭が痛いと言って……（她说从昨天晚上就头疼。）

この「～から」は、動作や状態の始まった時点を表します。「～と言って」の後には「～いるんです」などが省略されると考えられます。これについては、次の練習5-1で練習します。（这个“～から”是表示某个动作或某种状态所开始的时间。“～と言って”的后面，在这里可以考虑是省略了“～いるんです”的说法。关于这一点，请大家在后面的练习5-1来做练习。）

★練習4-1

例にならって言いなさい。（仿照例子，进行口头练习。）

例：昨日の晩、のど → 昨日の晩からのどが痛いと言って

1. 朝、おなか(肚子) →
2. おととい、腰(腰) →
3. 昨日の朝、肩(肩膀) →
4. 二、三日、歯(牙) →
5. 一週間前、背中(脊背) →
6. ゆうべ、頭(頭) →

5. お大事に (请她多加保重吧。)

病氣の人に對して言う決まり文句。「体を大事(大切)にしてください」の意味。病人を持つ家の人、病人の友人など面倒を見たり、心配をしている人にも言います。(这句话是对病人讲的一种应酬上的习惯用语，它的意思是：“体を大事(大切)にしてください”(请多加保重身体。)对照看或者为病人担心的患者家属、病人的朋友也同样可以说这种表示问候关心的应酬话。)

★練習5-1 <会話練習>

例にならって の部分をかえて練習しなさい。(仿照例子, 做变换 部分的练习。)

例: 家内, 今日, 頭が痛い

A: 先生、 が 休ませていただきたいと言っているんですが。

(老师, 我爱人说她今天要请假。)

B: どうしたんですか。(她怎么啦?)

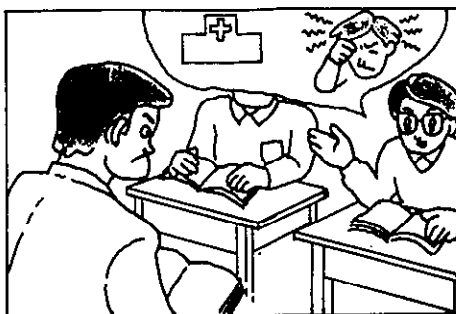
A: はい、 と言って……。 (她说她头痛。)

B: 分かりました。お大事に。(知道了。请多加保重吧。)

- 息子, あした, のどが痛い
- 兄, 今日, 頭が痛い
- 妹, 午後, 歯が痛い
- 弟, 次の授業(下一堂课), おなかが痛い
- 父, あしたの午前中, 胃の具合が悪い(胃不舒服)
- 家内, 今日, 体がだるい(身上没劲儿)

〔会話-4〕友人の欠席を届ける

先生に聞かれて、林さんは高橋さんの欠席を連絡します。



- 1 先生： ええと、高橋さんは？
- 2 林： あっ、高橋さんは病院へ行くんで、休むそうです。
- 3 先生： あ、そうですか。どうしたんでしょう。
- 4 林： 風邪で熱が8度5分あるんだそうです。
- 5 先生： そうですか。そりゃ大変ですね。

〔会話-4〕向老师报告同学的缺席

老师问到班级的出席情况，老林向老师报告高桥的缺席原因。

- 1 老师：高桥怎么没有来？
- 2 林：听说他去医院，（今天）请假。
- 3 老师：啊，是吗？他怎么啦？
- 4 林：听说他感冒发烧了，体温有38度5。
- 5 老师：是吗？还挺厉害呢。

〔会話-4〕のための練習（〔会話-4〕的练习）

1. 高橋さんは病院へ行くんで、休むそうです（听说高桥去医院，今天请假。）

「休むそうです」は「休む」に「そうです」（听说，据说）が付いた形で、この場合の「そうです」はほかの人から聞いたこと、ラジオやテレビで聞いたこと、本などで読んだことなどを相手に伝えるときに使います。なお、〔会話-3〕では自分の妻についてのことで、よく分かっていることなので、「そうです」は使っていません。（「休むそうです」是动词“休む”和“そうです”（听说、据说）结合在一起的形式。这种情况的“そうです”是用来把从别人那里听到的、或者是从收音机、电视、书本上等得知的内容传达给对方。但是在〔会話-3〕里，因为

老林说的是自己爱人的事情，是属于自己直接了解的情况，所以没有用“そうです”。)

★練習1-1

「そうです」は動詞などの辞書形に付きます。例にならって言いなさい。また、「そうです」の前の動詞が 1)五段動詞、2)一段動詞、3)例外動詞のどれかを選んでその番号を付けなさい。(仿照例子做口头练习。用在这个“そうです”前面的是动词等的基本形。到底哪些是属于 1)五段动词, 2)一段动词, 3)特殊动词, 请大家用数字来回答。)

例: 休みます → 休む → 休むそうです 1)

食べます → 食べる → 食べるそうです 2)

勉強します → 勉強する → 勉強するそうです 3)

- | | | |
|---------------|---|---|
| 1. 帰ります | → | → |
| 2. 買います | → | → |
| 3. 起きます | → | → |
| 4. やります | → | → |
| 5. 寝ます | → | → |
| 6. 降ります | → | → |
| 7. 来ます | → | → |
| 8. 仕事します(做工作) | → | → |

★練習1-2

練習1-1と同じ要領で練習しなさい。(按练习1-1的要求进行练习。)

例: 帰りません → 帰らない → 帰らないそうです 1)

- | | | |
|-----------|---|---|
| 1. 寝ません | → | → |
| 2. 休みません | → | → |
| 3. 飲みません | → | → |
| 4. 来ません | → | → |
| 5. 教えません | → | → |
| 6. 勉強しません | → | → |

★練習1-3

例にならって言いなさい。(仿照例句, 进行口头练习。)

例 1. 山田さんはどうしましたか(休みます)(山田他怎么啦?(休息))

→ 休むそうです(听说他要休息。)

2. 林さんはどうしましたか(来ません)(老林怎么啦?(不来))

→ 来ないそうです(听说不来。)

1. 山口さんはどうしましたか(帰ります) →

2. 大山さんはどうしましたか(行きません) →

3. 木村さんはどうしましたか(食べます) →

4. 山田さんはどうしましたか(すぐきます) →

5. 鈴木さんはどうしましたか(出席しません)(不出席) →

6. 吉田さんはどうしましたか(参加しません)(不参加) →

〔会話-5〕 早退の許可を求める

林さんは授業中、体の調子が悪くなったので、先生に許可を求め、早退します。

1 林 : すみません。先生。

2 先生 : はい、何ですか。

3 林 : ちょっと 気分が 悪いんです
が……。

4 先生 : あ、そりゃ いけませんね。

5 林 : あのう、うちに 帰ってもいいで
すか。

6 先生 : ええ、その方がいいですね。

7 林 : どうもすみません。

8 先生 : 一人で 大丈夫ですか。

9 林 : はい、大丈夫です。では、失礼します。



〔会話-5〕请早退假

上课时，老林觉得身体有点儿不舒服，他向老师请求早退。

- 1 林：对不起，老师！
- 2 老师：你怎么啦？
- 3 林：我觉得有点儿不太舒服……
- 4 老师：哎呀，是吗？
- 5 林：我想(现在就)回去，行吗？
- 6 老师：可以，还是回去好。
- 7 林：真对不起。
- 8 老师：你一个人能回去吗？
- 9 林：行，不要紧。那我就先回去了。

〔会話-5〕のための練習（〔会話-5〕的练习）

1. ちょっと（有点儿）

「ちょっと」はもともとは「少し」という意味ですが、会話の中ではよく柔らかい感じを出すために使われます。「ちょっと」がなくても文の意味は変わりませんが、何か言うときに調子を柔らげたり、何か尋ねるときにまず人の注意を引いたりする役目をします。ここでは、授業中に早退するという無理なこと、普通ならやるべきではないことを相手に頼む場面なので、自分が無理を承知で頼むという気分を表しています。気分の悪さの程度が少しであるかどうかはほとんど関係がありません。次の例を読んで「ちょっと」の使い方を理解してください。（“ちょっと”本来是“少し”（一点儿、稍微）的意思，但是在平常的会话中却常常用它来缓和语气。在讲话时，即使是不说“ちょっと”，其句子本身的意思也没有什么变化，但是它可以使讲话的语气因此而变得更婉转。另外在向别人打听什么事情时，它能起到一种引起对方注意的提示作用。这段会话说，在课堂上提出早退本来是不合适的，也是不应该的，但是老林因自己的身体不舒服不得不向老师提出这样的要求。使用“ちょっと”能使语气变得婉转柔和，它和身体不舒服的程度几乎没有什么关系，表示自己提出这种过份的要求是出于不得已的心情。请大家理解下列各句中“ちょっと”的使用方法。）

例1. あしたはちょっと都合が悪いです。（明天我不太方便。）

2. さあ、ちょっと分かりません。（嗯，我不太知道。）

3. ちょっと行ってきます。（我去一下就来。）

4. ちょっとこの手紙出してきてくれませんか。(劳驾，你能不能把这封信给我寄去?)
5. あの、ちょっと教えていただけませんか。(嗯——，您能教给我吗? 您能告诉我吗?)

2. 気分が悪いんですが……(我觉得不舒服……)

「～んですが」は、ここでは個人的な状態、体の調子などを相手に伝え、どうしたらよいかを尋ねる意味で使われています。お医者さんや先生、道に迷ったときに助けてくれる人などが「どうしたんですか」と言ったら、この形を使って答えればいいでしょう。(“～んですが”在这里老林把个人的处境、状况或身体情况告诉对方，并同时想听取对方的处理意见。医院的大夫、学校的老师，还有当你迷路时遇到了要帮助你的行人等，向你提出“どうしたんですか”(你怎么啦?)时，可以用上面这种说法来做回答。)

★練習2-1

「どうしたんですか」と聞かれて「～んですが」の形で答えます。答のほうをテープにならって言いなさい。(针对“どうしたんですか”这个问题，用“～んですが”这种形式来回答。请模仿录音练习回答。)

1. <先生に聞かれて>

どうしたんですか。→ 答が分からないんですが……。 (我不知道怎么回答。我不知道答案。)
→ 字が書けないんですが……。 (我不会写字。)

2. <お医者さんに聞かれて> (被医生问。医生问到。)

どうしたんですか。→ 頭が痛いんですが……。 (我头疼。)
→ せきが出るんですが……。 (我咳嗽。)

3. <街中で道に迷ったときに> (迷路时。)

どうしたんですか。→ 駅に行きたいんですが……。 (我想去车站。)
→ 5番のバスに乗りたいたんですが……。 (我想坐五号汽车。)
→ ここへ電話したいんですが……。 (我想往这里打电话。)

3. そりゃいけませんね (哎呀，是吗?)

「そりゃ」は「それは」のくだけた言い方。「いけませんね」は「よくないですね」の意味

ですが、何かに困っている相手の状況に同情する気持ちを表すときの決まった表現です。
 (“そりゃ”是“それは”的随便的说法。“いけませんね”是“よくないですね”(不好)的意思,
 这是要向碰到困难情况的对方表示自己的同情时所做的习惯式的回答。)

4. うちに帰ってもいいですか(我想回去, 行吗?)

「～でもいいですか」は(做……可以吗?)の意味で、許可を求めるときの一つの言い方です。〔会話-3〕の「～させていただきたいんですが」は「～たい」が入っていることから分かるように、自分の希望を述べて許可を求めているので、丁寧な言い方であるのに対し、こちらは単純に許可を求めるときに使います。(「～でもいいですか」の使い方については第4課会話1の4を参照) (“～でもいいですか”是“做……可以吗?”的意思, 它是用于征求对方同意和许可等的一种说法。在〔会話-3〕中的“～させていただきたいんですが”, 因为带有“～たい”这种形式, 所以显然是先提出自己的要求后再征求对方同意的一种说法。相比之下“～でもいいですか”就是单纯直接地征求对方的同意时用的。关于“～でもいいですか”的用法, 请参看第4课〔会話-1〕的4。)

★練習4-1

例にならって練習しなさい。最初に一段動詞の「て」の形(テ形)を作ります。一段動詞のテ形は、マス形に「て」を付けて作ります。(仿照例子, 进行练习。先做“一段动词”的“て”形。“一段动词”的“テ形”是在“マス形”后面加上“て”来形成的。)

例: 見る → 見て

1. 着る →
2. 起きる →
3. 教える →
4. 食べる →
5. 降りる →
6. 寝る →

● 一段動詞のまとめ

	辞書形	～て、～た(注)	～ます	～ない
一イル	いる (在、有)	いて	います	いない
	着る (穿)	きて	きます	きない
	落ちる (掉、落)	おちて	おちます	おちない
	似る (象)	にて	にます	にない
	借りる (借)	かりて	かります	かりない
一エル	考える (想、考虑)	かんがえて	かんがえます	かんがえない
	付ける (点、开等等)	つけて	つけます	つけない
	出る (出来)	でて	でます	でない
	決める (決定)	きめて	きめます	きめない
	忘れる (忘记)	わすれて	わすれます	わすれない

注) 過去あるいは完了を表す動詞の「～た」の形(タ形)もテ形と全く同じ作り方をします。これは、五段動詞、例外動詞についても同様です。
(表示动词的“过去”或“完了”的“～た”形(也是タ形)和テ形的变法完全一样，五段动词和特殊动词也是相同的。)

★練習 4-2

次は五段動詞です。「て」の形を作るときの音の変化の仕方から五つに分けて練習します。
(下面是“五段动词”。这种动词的“て”形接照音变分成五种情况。请大家按照顺序来进行练习。)

五段動詞 1: 辞書形「く」で終わる動詞は「く」を取って「いて」とします。(五段動詞 1: 基本形以“く”为结尾的，是去掉“く”加“いて”。)

例: 書く → 書いて

1. 聞く →
2. ふく(擦) →
3. 掃く(扫) →
4. たたく(打、敲) →
5. 開く(打开) →
6. 置く(放) →

ただし、「行く」は例外で「行つて」となります。(但是，只有“行く”这个动词例外，它的“て”形是“行つて”。)

五段動詞2：辞書形が「ぐ」で終わる動詞は「ぐ」を取って「いで」とします。(五段動

詞2：基本形是以“ぐ”为结尾的，去掉“ぐ”变成“いで”。)

例：泳ぐ → 泳いで

1. 急ぐ →

2. 脱ぐ(脱) →

3. 泳ぐ →

五段動詞3：辞書形が「う」「つ」「る」で終わる動詞は「う」「つ」「る」を取って「って」と

します。(五段動詞3：基本形是以“う”、“つ”、“る”为结尾的，要去掉“う”、

“つ”、“る”变成“って”。)

例：買う → 買って

勝つ → 勝って

取る → 取って

1. 洗う →

2. 切る →

3. 使う →

4. 乗る →

5. 立つ →

6. 帰る →

7. 持つ →

8. 買う →

9. 待つ(等待) →

10. 売る(卖) →

11. 会う(见面) →

12. 打つ(打) →

五段動詞4：辞書形が「ぶ」「む」「ぬ」で終わる動詞は「ぶ」「む」「ぬ」を取って「んで」と

します。(五段動詞4：基本形是以“ぶ”“む”“ぬ”为结尾的，要去掉“ぶ”

“む”“ぬ”变成“んで”。)

例：飛ぶ → 飛んで

読む → 読んで

死ぬ → 死んで

1. 飲む →
2. 呼ぶ →
3. 休む →
4. 遊ぶ →
5. 死ぬ →
6. かむ(咬) →
7. 選ぶ(挑, 选) →
8. 住む(住) →

「ぬ」で終わる動詞は「死ぬ」しかありません。(以“ぬ”为结尾的动词只有一个“死ぬ”。)

五段動詞5: 辞書形が「す」で終わる動詞は「す」を取って「して」とします。(五段动词5: 基本形是“す”为结尾的, 是把“す”去掉, 变成“して”。)

例: 貸す → 貸して

1. 話す →
2. 渡す →
3. 指す(指) →
4. 沸かす(烧开、烧热) →
5. 消す(灭, 关, 擦掉) →
6. 押す(按推) →

★練習4-3

二つの例外の動詞は次のようになります。(下面是两个特殊动词的“て”形。)

例: する → して

来る → きて

1. する →
2. 勉強する →
3. 休憩する →
4. 来る →
5. 行ってくる →
6. 買ってくる →

●五段動詞のまとめ(“五段动词”小结)

行	辞書形	～て、～た	～で、～だ	～ます	～ない
カ	書く (写) 聞く (听、问) 置く (放) 歩く (走)	かいて きいて おいて あるいて		かきます ききます おきます あるきます	かかない きかない おかない あるかない
ガ	泳ぐ (游泳) 脱ぐ (脱下)		およいで ぬいで	およぎます ぬぎます	およがない ぬがない
サ	話す (说、讲) 貸す (借出)	はなして かして		はなします かします	はなさない かさない
タ	待つ (等待) 持つ (拿)	まって もって		まちます もちます	またない もたない
ラ	切る (切、剪) 帰る (回) 乗る (乘)	きって かえって のって		きります かえります のります	きらない かえらない のらない
ワ	買う (买) 洗う (洗) 会う (见面) 払う (付、交) 使う (使用)	かって あらって あって はらって つかって		かいます あらいます あいます はらいます つかいます	かわない あらわない あわない はらわない つかわない
バ	呼ぶ (叫) 飛ぶ (飞)		よんで とんで	よびます とびます	よばない とばない
ナ	死ぬ (死)		しんで	しにます	しなない
マ	飲む (喝) 読む (读、念) 休む (休息、请假)		のんで よんで やすんで	のみます よみます やすみます	のまない よまない やすまない

●例外動詞のまとめ

辞書形	～て、～た	～ます	～ない
する (做) 勉強する(学习)	して 勉強して	します 勉強します	しない 勉強しない
くる (来) 行ってくる(去一下就来)	きて 行ってきて	きます 行ってきます	こない 行っこない

★練習4-4

例にならって言いなさい。三つの種類の動詞と一緒に練習します。(仿照例子, 进行口头练习, 三种动词混合在一起进行练习。)

例: 見る → 見てもいいですか

話す → 話してもいいですか

1. 泳ぐ →
2. 食べる →
3. 立つ →
4. 買う →
5. 来る →
6. 取る →
7. 行く →
8. する →
9. 聞く →
10. 貸す →
11. 休む →
12. 休憩する →
13. 帰る →
14. 閉める →
15. 取ってくる →
16. 遊ぶ →

5. その方がいいですね (那样(做)比较好。)

ここでは許可を与える意味になります。許可を与えない場合は、「～てはいけません」となりますが、この表現は使われる場面が限られています。これについては第4課会話1の4を参考にしてください。(「～方がいい」のもう一つの用法については、第3課会話7の1参照) (这句话在这里是表示给予对方许可的意思。如果表示不同意，则说“～てはいけません”(那样做……不行。)但是能用这种说法的机会并不多。关于“～ほうがいい”的另外一种用法，请参看第3课〔会话-7〕的1。)

6. 一人で大丈夫ですか (一个人能回去吗?)

「一人で帰るときに手伝いをしなくてもいいか」「一人で部屋で寝ていて大丈夫か」の意味。「で」は、その前に人数や人のグループを表す言葉がくるときには、「その人達によって」の意味を表します。(这句话是“一个人回去能行吗?”或者“一个人在房间躺着可以吗?”的意思。在“で”的前面，如果有表示人数或表示一群人的词语，这个“で”就表示动作行为是由那些人来做的。)

★練習6-1

例にならって言いなさい。(仿照例子，进行口头练习。)

例: 一人 → 一人でやります

1. 三人(三个人) →
2. うち中(全家) →
3. 子供だけ(光是孩子) →
4. 先生たち(老师们) →
5. 社長一人(社长一个人) →
6. みんな(大家) →

〔会話-6〕 早退した次の日のあいさつ

早退した次の日、林さんは先生にあいさつをします。

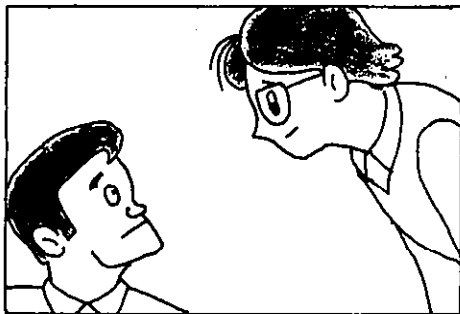
1 林 : 昨日は どうも失礼しました。

2 先生 : いいえ。で、どうですか。

3 林 : ええ、まだ 少し 頭が痛いんですが、大丈夫です。

4 先生 : そうですか。でも、あまり 無理を しない方がいいですよ。

5 林 : はい、ありがとうございます。



〔会話-6〕 早退后第二天，向老师打招呼

早退后的第二天，老林向老师打招呼。

- 1 林 : 老师，昨天真是对不起。
- 2 老师：没什么，今天觉得怎么样啊？
- 3 林 : 头还有点儿疼，可是已经不要紧了。
- 4 老师：是吗？可不要太勉强了。
- 5 林 : 谢谢您。

〔会話-6〕 のための練習 (〔会話-6〕 的练习)

1. あまり無理をしない方がいいですよ (不要太勉强了。)

「～ない方がいい」は何かをしないことを勧める言い方。反対に、何かをすることを勧めるときは、「～た方がいい」を使います。(“～ない方がいい”这句话是劝说别人不要做什么事情时的一种说法。相反，如果是劝说别人做什么，要用“～た方がいい”这种说法。)

★練習1-1

例にならって言いなさい。(仿照例子, 进行口头练习。)

例: 書く → 書かない

1. 読む →
2. 食べる →
3. 起きる →
4. する →
5. 来る →
6. 行く →
7. 帰る →
8. 見る →

★練習1-2

例にならって練習しなさい。(仿照例子, 进行练习。)

例: 食べる → 食べない方がいいですよ

1. 書く →
2. 来る →
3. 話す →
4. する →
5. 帰る →
6. 休む →

★練習1-3

例にならって「あまり～ない方がいいですよ」の形で注意をする練習をしてみなさい。
(仿照例句, 使用“あまり～ない方がいいですよ”的形式来做提醒别人注意的练习。)

例: <たばこを吸ってばかりいる人に>(对光是吸烟的人)

たばこを吸う → あまりたばこを吸わない方がいいですよ。

1. <お酒をよく飲む人に>(对爱喝酒的人)

お酒を飲む →

2. <よく学校を休む人に>(对经常不来上课的人)

学校を休む →

3. 〈甘い物が大好きで歯が悪い人に〉(对喜欢吃甜的食物而牙齿又不好的人)
甘い物を食べる →
4. 〈病氣なのに無理をして勉強している人に〉(对有病但又勉強坚持学习的人)
無理をする(勉強) →
5. 〈車の運転を始めたばかりの人に〉(对刚学会开汽车的人.)
スピードを出す(开得太快) →
6. 〈夜中にラジオで音楽を聞いている人に〉(对深夜用收音机听音乐的人)
大きい音を出す(把声音放得太大) →

〔会話-7〕 隣に声をかける

林さんは、切手を買いに郵便局へ行くので、隣の斎藤さんに声をかけます。

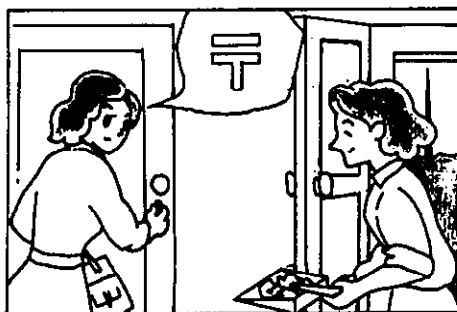
- 1 林 : あ、斎藤さん、すみません。
ちょっと 出かけてきます。
お願いします。

- 2 斎藤 : はい。買物ですか。

- 3 林 : ええ、郵便局へ 行って、
切手を 買ってきたいんです。20分ぐらいで 戻ります。

- 4 斎藤 : はい、分かりました。行ってらっしゃい。

- 5 林 : 行ってきます。



〔会話-7〕 跟邻居打招呼

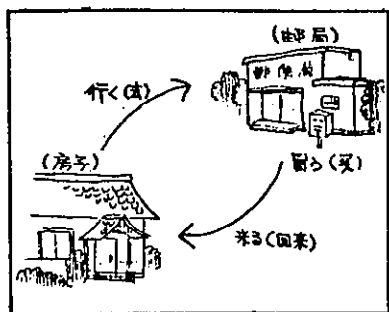
老林要去邮局买邮票，临走时他向住在隔壁的斋藤打招呼。

- 1 林 : 斋藤！我出去一趟，麻烦你给照应一下儿。
2 斋藤 : 好啊，你去买东西吗？
3 林 : 嗯，我想去邮局买邮票，20分钟左右就回来。
4 斋藤 : 好，那你去吧。
5 林 : 那我就走啦！

〔会話-7〕のための練習（〔会話-7〕的练习）

1. 切手を買ってきたいんです（我想去买邮票。）

「切手を買ってくる」に「～たいんです」が付いた形。「買ってくる」は右の図に示されるような一連の行為を表します。こういう形の行為のとき、日本語では普通、（買う）と（来る）を言葉にして「買ってくる」と言うのです。「買いに行きたいんです」と言うのと「行く」という行為に特に重点を置く言い方



になります。（“切手を買ってきたいんです”是把“切手を買ってくる”这句话加上“～たいんです”的一种形式。“買ってくる”正象右图所表示的那样，是一连串的动作行为。象这种形式的动作行为，在日语里通常是用“買う”+“くる”结合在一起的形式，说成“買ってくる”。这句话如果要这么讲：“買いに行きたいんです”（我想去买），那么这句话的重点就变成了强调“行く”（去）这个动作了。）

★練習 1-1

例：例にならって練習しなさい。（仿照例子，进行练习。）

例：買う → 買ってくる → 買ってきます

- | | | |
|--------|---|---|
| 1. 食べる | → | → |
| 2. 読む | → | → |
| 3. 取る | → | → |
| 4. 見る | → | → |
| 5. 書く | → | → |
| 6. 聞く | → | → |

何をしに行くのかをはっきり言わない場合は「行ってきます」となり、次のように使います。（如果不是具体地告诉对方自己要到哪里去，要说“行ってきます”。请参考下面的会话文。）

例：A：林さん、どちらへ。（老林，你上哪儿？）

B：はい、ちょっとそこまで行ってきます。（噢，我出去一下儿。）

「買いに行く」に「来る」を付けた形「買いに行ってきます」もよく使われます。出かけるときのあいさつの「行ってきます」はこの「行ってきます」が定型化したものです。（还常常把“買いに行く”+“来る”变成“買いに行ってくる”（去买回来）。出门的时候所说的

“行ってきます”，已经成了人们固定化了的的一种应酬。）

★練習 1-2

例にならって練習しなさい。(仿照例子，进行练习。)

例：買う → 買いに行ってくる → 買いに行ってきます

- | | | |
|-------------|---|---|
| 1. 食べる | → | → |
| 2. 手伝う | → | → |
| 3. 見る | → | → |
| 4. 取る | → | → |
| 5. 遊ぶ | → | → |
| 6. 運動する(运动) | → | → |

2. 20分ぐらいで戻ります(20分钟左右就回来。)

「戻る」はこの場合「帰る」と同じ意味で、1で練習した「～てくる」を使って「戻ってくる」「帰ってくる」のような形もよく使われます。「20分ぐらいで」は(用20分钟左右)の意味。この場合の「で」は、かかる時間を表します。(“戻る”在这里和“帰る”的意思相同，象做过的练习“1”一样，常常接上“～てくる”的形式来使用，也就是“戻ってくる”、“～帰ってくる”这种形式。“20分ぐらいで”(用20分钟左右)，这里的“で”表示所需要的时间。)

★練習 2-1

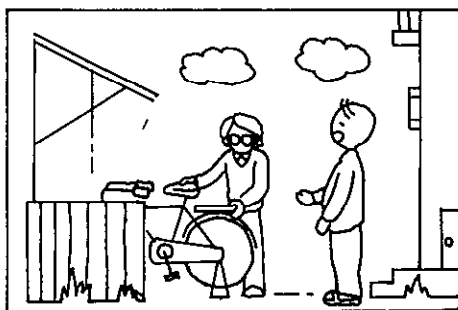
例にならって練習しなさい。(仿照例子进行练习。)

例：20分，帰る → 20分ぐらいで帰ります

- | | |
|-----------------------|---|
| 1. 10分，お風呂が沸く(洗澡水烧好。) | → |
| 2. 30分，食事になる(要吃饭。) | → |
| 3. 二日，修理ができる(能修好。) | → |
| 4. 1時間，宿題が終わる(做完作业。) | → |
| 5. あと5分，授業が始まる(开始上课。) | → |
| 6. あと1週間，夏休みになる(放暑假。) | → |

〔会話-8〕 自転車^{じてんしゃ}を^か借りる

林^{はやし}さんは駅前^{えきまえ}のスーパーへ行くので、管理人^{かんりじん}の松本^{まつもと}さんに自転車^{じてんしゃ}を^か借ります。



1 林^{はやし} : すみません、松本^{まつもと}さん。自転車^{じてんしゃ}、お借^かりしてもいいですか。

2 松本^{まつもと} : はい。

3 林^{はやし} : ちょっと、駅前^{えきまえ}のスーパーまで行^いってきます。30分^{さんじゅうぶん}ほどで帰^{かえ}ってきますから。

4 松本^{まつもと} : どうぞ。気^きを付^つけて。

5 林^{はやし} : じゃ、行^いってきます。

〔会話-8〕 借^か自行车

老林要到车站前的超级市场，他向管理员松本借自行车。

1 林 : 松本先生，打搅你一下儿。把自行车借给我用一下好不好？

2 松本：好。

3 林 : 我要去车站前的超级市场，30来分钟就回来。

4 松本：请用吧。要多加小心呀。

5 林 : 那我走啦。

〔会話-8〕 のための練習（〔会話-8〕的练习）

1. 自転車^{じてんしゃ}、お借^かりしてもいいですか（把自行车借给我用一下好不好？）

「自転車^{じてんしゃ}をお借^かりしてもいいですか」の「を」が話し言葉で省略されたもの。「お借^かりしてもいいですか」は「借^かりる」の謙譲^{けんじやう}の形「お借^かりする」に「～てもいいですか」が付いた形です。（这句话做为会话句，是把“自転車^{じてんしゃ}をお借^かりしてもいいですか”中的“を”省略了的说法。“お借^かりしてもいいですか”是动词“借^かりる”的谦让形“お借^かりする”加上“～てもいいですか”的形式。）

★練習 1-1

例にならって練習しなさい。「お～する」の「～」の部分には、動詞のマス形が入ります。
(仿照例子进行练习。“お～する”的“～”部分，用动词“マス形”来填。)

例：借りる → 借ります → お借りします

- | | | |
|--------------|---|---|
| 1. 読む | → | → |
| 2. 持つ | → | → |
| 3. 助ける | → | → |
| 4. 貸す | → | → |
| 5. 見せる(让看) | → | → |
| 6. 直す(订正、修理) | → | → |

★練習 1-2

「お借りする」は「借りる」の謙譲の形ですが、尊敬の形は「お借りになる」になります。「お～になる」の「～」の部分には動詞のマス形が入ります。例にならって練習 1-1 の 1～6 を使って練習しなさい。(“お借りする”是“借りる”的谦让形，而它的尊敬形是“お借りになる”。“お～になる”的“～”部分，用动词“マス形”来填。用练习 1-1 的 1～6，仿照例子，进行练习。)

例：借りる → 借ります → お借りになります

2. 駅前のスーパーまで (去车站前的超级市场。)

「まで」は範囲を表し、「～から～まで」の形で使うのが普通ですが、この場合のように「まで」だけでもよく使います。(“まで”是表示范围的，一般使用“～から～まで”(①从……时候到……时候 ②从……地方到……地方) 这种形式，但是象上面这句话一样，光用“まで”的时候也比较多。)

★練習 2-1

テープにならって言いなさい。(仿照录音进行练习。)

1. ここから駅前^{えきまへ}のスーパーまでです (从这儿到车站前的超级市场。)
2. 5時^{ごじ}から6時^{ろくじ}までです
3. 中国^{ちゅうごく}から日本^{にっぽん}までです
4. 学校^{がっこう}から駅^{えき}までです
5. 5番^{ごばん}から10番^{じゅうばん}までです
6. 月曜日^{げつようび}から金曜日^{きんようび}までです

3. 30分^{さんじゅうふん}ほどで帰^{かえ}ってきますから (30分钟左右就回来。)

「ほど」は「ぐらい」と同じ意味です。「帰ってきますから」の「から」は、後に「心配^{しんぱい}しないでください」が省略^{しょうりゃく}されていると考えてください。(这句话的“ほど”和“ぐらい”的意思一样, “帰ってきますから”中的“から”, 可以这样想: 是省略了后面的“心配しないでください”(请不要操心。)这句话。)

第2課 指示と依頼 (指示和委托)



请求别人为自己做什么事情或者指使别人做什么事时，日语的说法有很多。根据讲话时的不同场面以及听话人的不同身份，说法也随之发生变化。当你的要求将会给别人带来比较重的负担或者是向自己的上级或长辈请求做什么事情时，一定要说得又客气又有礼貌，尤其是要避免那种让人感到过于直接或命令式的说法。当你要向别人提出什么请求时，如果不能选用适当的说法，有时就会影响人与人之间的关系。所以，请大家根据听话者的不同身份以及各种不同的场面，注意使用各种不同的说法。

另外，别人向你有所求(例如，有人请你当翻译)或者，指示你做什么(例如，大夫给你看病)时，一定先要准确地掌握对方的讲话内容，然后再行动。特别是要注意日语中语言表达上的特点。假如你没有搞清对方的指示和请求，一定要用客气的讲法向对方问清楚。

〔会話-1〕コピーを頼む (I)

林さんは授業に使うプリントを事務室でコピーしてもらってくるように、上野先生に頼まれます。

1 先生： 林さん、ちょっと 事務室へ 行ってきてくれませんか。

2 林： はい。

3 先生： これ、事務の人に 頼んで、15部コピーしてもらってください。

4 林： はい。15部ですね。

5 先生： ええ。お願いします。



〔会話-1〕请事务员拷贝讲义 (1)

上野老师让老林到办公室找事务员给拷贝上课用的讲义。

- 1 老师：老林，你去一趟办公室，好吗？
- 2 林：好。
- 3 老师：这个，让办公室的人给拷贝15份。
- 4 林：是15份吗？
- 5 老师：对，麻烦你了。

〔会話-1〕のための練習 (〔会話-1〕的练习)

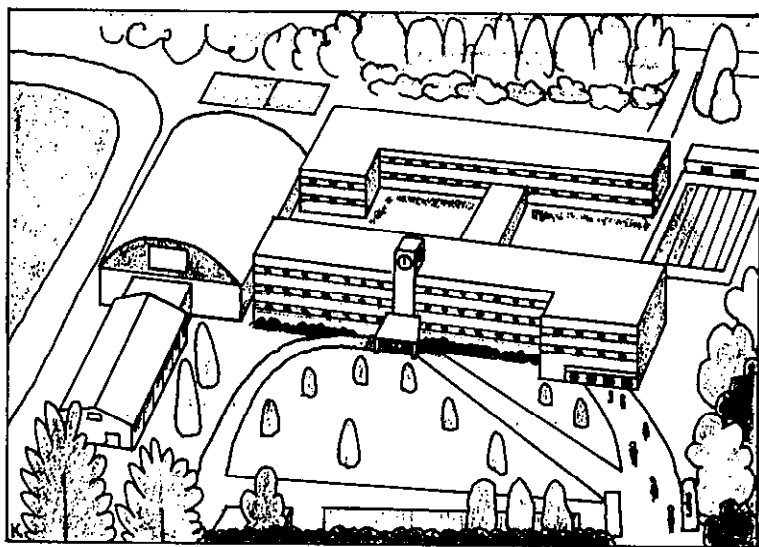
1. 事務室 (办公室)

学校にはいろいろな部屋や設備があり、いろいろな人が働いています。また、学校生活で使われる特有の言葉も多くあります。次の表を参考にして学校の部屋の名前や学校で使われる言葉を整理しましょう。学校によってそれぞれ異なった名前を使っているところもありますから、学校に行っている人は、自分の学校ではどういう言葉が使われているか調べてみるといいでしょう。(每个学校都有各种设备、教室和办公室等，并且有很多人在这里工作。另外，在学校生活里所使用的专门词语也比较多。请大家参看下列图表，学习一下学

校各种教室和办公室的名称以及学校中生活用语。学校不同，有时所用的名称也不一样。在学校学习的同学们，可以调查一下自己的学校都使用哪些说法。)

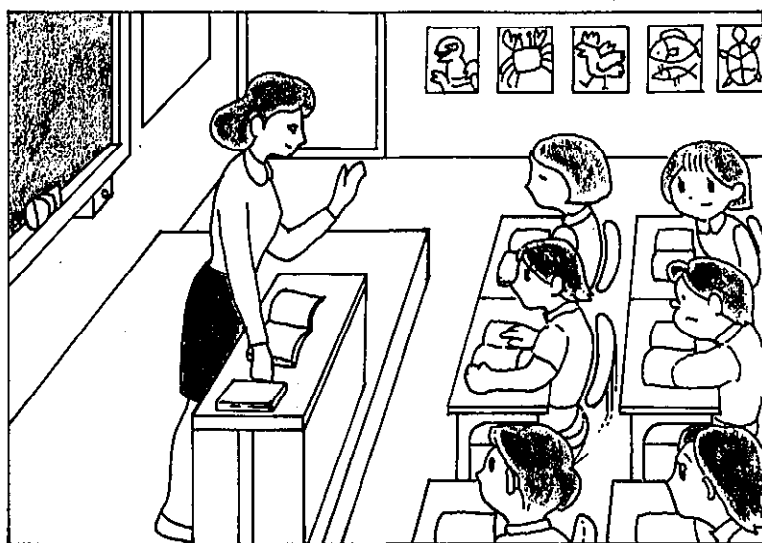
部屋、設備 (房间、设备)

教室(教室)	職員室(教员办公室)	教員室(教员办公室)
校長室(校长办公室)	事務室(事务室)	受付(传达室)
図書室(图书室)	給食室(厨房)	保健室(保健室)
音楽室(音乐教室)	美術室(美术教室)	理科室(理科教室)
実験室(实验室)	家庭科室(家庭科教室)	放送室(广播室)
講堂(礼堂)	視聴覚室(视听教室、电化教室)	用務員室(勤杂人员办公室)
宿直室(值夜室)	校舎(校舍)	校庭(校园)
校門(校门)	屋上(屋顶)	体育館(体育馆)



教室内 (教室内)

黒板(黑板)	チョーク(粉笔)	教卓(讲桌)
教壇(讲坛)	机(课桌)	椅子(椅子)
本箱(书箱)	本棚(书架)	掲示板(布告栏)
行事表(活动计划表)		



職員 (工作人員)

校長先生(校長)

教頭先生(副校長)

担任の先生(班主任)

養護の先生(保健衛生老師)

事務員—〇〇さん(事務員—××老師)

給食のおばさん(管伙食的阿姨)

用務員さん(勤雜人員)

学校活動 (學校活動)

学級会(ホームルーム)(班級活動、班會)

クラブ活動(課餘小組活動)

部活動(課餘小組活動)

係(……員)

当番(值日)

週番(值周生)

学級委員(班級委員)

PTA(家長教師協作會)

授業参観(家長听课)

家庭訪問(家訪)

行事 (活動)

〇—学期(第一學期)

入学式(入學式)

始業式(開學典禮)

健康診断(身體檢查)

予防接種(預防接種)

遠足(郊遊)

終業式(結業式)

夏休み(暑假)

林間学校(森林夏令營)

キャンプ(野營)

臨海学校(海濱夏令營)

水泳教室(游泳教室)

登校日(去學校的日子、返校日)



○二学期(第二学期)

展覧会(展览会)

運動会(运动会)

修学旅行(毕业旅行)

学芸会(文艺演出会)

音楽会(音乐会)

文化祭(综合性的文化活动日)

冬休み(寒假)

○三学期(第三学期)

マラソン大会(马拉松比赛)

卒業アルバム(毕业纪念相集)

卒業文集(毕业生作文集)

進路指導(升学或就业指导)

進学指導(升学指导)

就職指導(就业指导)

卒業式(毕业典礼)

春休み(春假)

日課(日程)

登校(上学)

朝礼(晨会)

朝の学級会(ホームルーム)(早晨的班会)

第一時限(一時間目)(第一堂课)～第六時限(六時間目)(第六堂课)

昼休み(午休)

清掃(搞卫生)

帰りの学級会(ホームルーム)(放学前的班会)

放課後(放学后)

クラブ活動(课余小组活动)

部活動(课余小组活动)

下校(放学)

